

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 平成27年2月10日から平成37年1月10日まで (年2回決算型) 平成27年4月10日から平成37年1月10日まで	
投資方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主 な 投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
主 な 投資制限	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日（休業日の場合は翌営業日） (年2回決算型) 原則として、毎年1月10日および7月10日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型) / (年2回決算型)

(毎月決算型) 第1作成期

第1期(決算日2015年4月10日) 第3期(決算日2015年6月10日)
第2期(決算日2015年5月11日) 第4期(決算日2015年7月10日)

(年2回決算型)

第1期(決算日2015年7月10日)

受益者の皆様へ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)」は、2015年7月10日に決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号: 03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

設定以来の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配落)	税 込	期 中	債 券 組入比率	純資産 総 額
			分配金	騰 落 率		
第 1 作 成 期	(設 定 日) 2015年 2月10日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 586
	1 期(2015年 4月10日)	10,242	0	2.4	91.1	600
	2 期(2015年 5月11日)	10,060	45	△1.3	83.7	8,249
	3 期(2015年 6月10日)	10,457	45	4.4	93.3	17,378
	4 期(2015年 7月10日)	10,341	45	△0.7	93.9	19,283

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注5) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークを設けておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組入比率
第 1 期	(設 定 日) 2015年 2月10日	円 10,000	% —	% —
	2 月末	10,164	1.6	96.5
	3 月末	10,175	1.8	91.4
	(期 末) 2015年 4月10日	10,242	2.4	91.1
第 2 期	(期 首) 2015年 4月10日	10,242	—	91.1
	4 月末	10,126	△1.1	83.2
	(期 末) 2015年 5月11日	10,105	△1.3	83.7
第 3 期	(期 首) 2015年 5月11日	10,060	—	83.7
	5 月末	10,459	4.0	93.8
	(期 末) 2015年 6月10日	10,502	4.4	93.3
第 4 期	(期 首) 2015年 6月10日	10,457	—	93.3
	6 月末	10,338	△1.1	93.5
	(期 末) 2015年 7月10日	10,386	△0.7	93.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比（第1期は設定日比）です。

(注2) 設定日の基準価額には当初元本を用いております。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークを設けておりません。

設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	債 券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
(設 定 日) 2015年4月10日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 1
1期(2015年7月10日)	10,232	0	2.3	93.6	5,933

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークを設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組入比率
(設 定 日) 2015年4月10日	円 10,000	% —	% —
4月末	9,888	△1.1	83.2
5月末	10,260	2.6	93.9
6月末	10,184	1.8	93.6
(期 末) 2015年7月10日	10,232	2.3	93.6

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) 設定日の基準価額には当初元本を用いております。

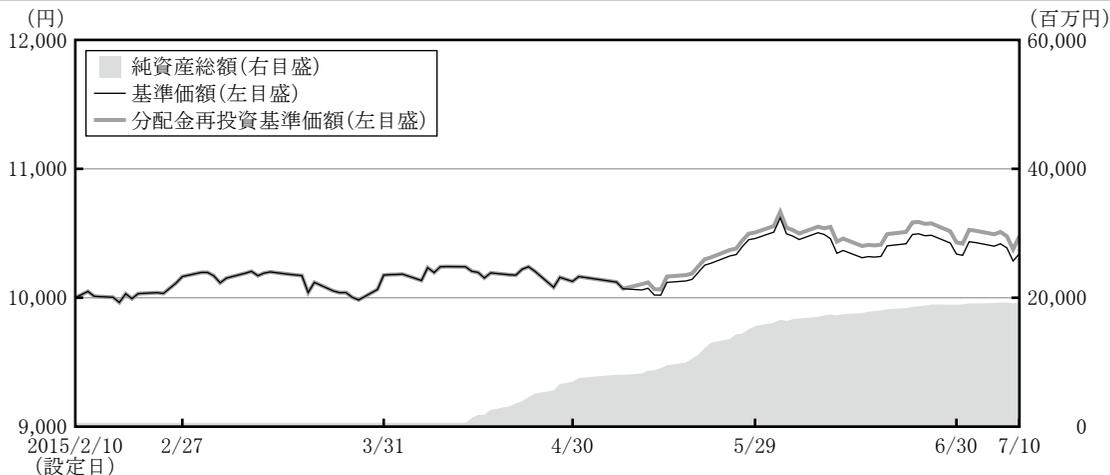
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質組入比率を記載しております。

(注4) 当ファンドは公表されている適切な指標が存在しないためベンチマークを設けておりません。

運用経過

（毎月決算型）

当作成期中の基準価額等の推移について（第1期～第4期：2015年2月10日から2015年7月10日まで）



設定日	10,000円
第4期末	10,341円（既払分配金135円）
騰落率	4.8%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

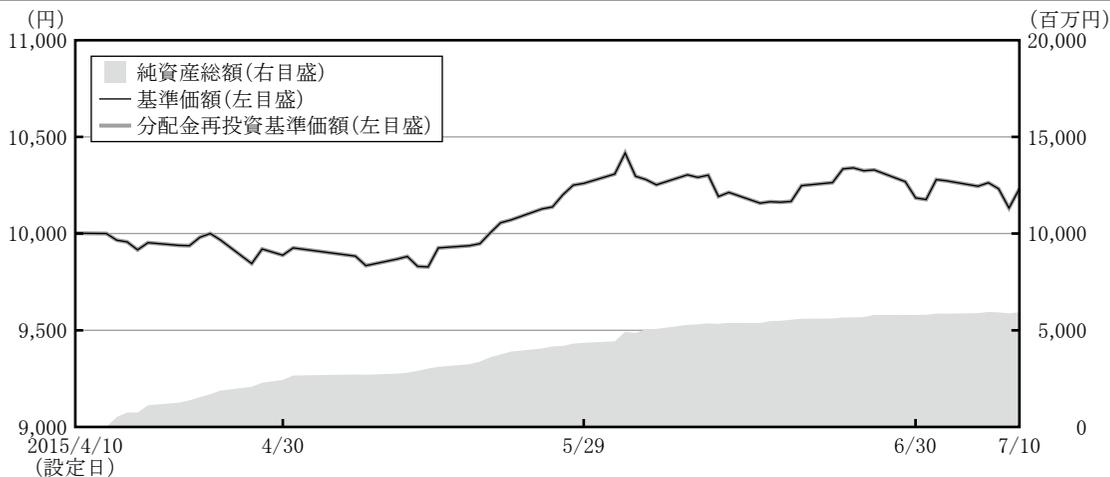
（注3）設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

基準価額の主な変動要因

2015年4月末以降、インド債券市場の変動性が高まる中で利回りがやや上昇（債券価格は下落）したことが基準価額の下落要因となる一方、債券のクーポン収入や為替がインドルピー高円安となったことなどが基準価額の上昇要因となりました。

（年2回決算型）

当期中の基準価額等の推移について（第1期：2015年4月10日から2015年7月10日まで）



設定日	10,000円
第1期末	10,232円 (既払分配金0円)
騰落率	2.3% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 最初の分配金が出るまでの期間においては、基準価額を示す折れ線と分配金再投資基準価額を示す折れ線は重なって表示されます。

(注4) 設定日の基準価額および純資産総額は、当初元本を用いています。

基準価額の主な変動要因

2015年4月末以降、インド債券市場の変動性が高まる中で利回りがやや上昇(債券価格は下落)したことが基準価額の下落要因となる一方、債券のクーポン収入などが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（毎月決算型）

○海外債券市況

インド債券市場では、2015年3月から4月下旬にかけて、インド準備銀行（中央銀行、RBI）の予想外の緊急利下げや、大手格付会社によるインドの政府債務格付け見通しの引上げが好感される一方、原油価格の上昇が嫌気されて10年国債利回りは小動きとなり、相対的に格付けが高い社債の国債に対する利回りスプレッドも小動きとなりました。4月末以降、欧米債券市場の大幅下落を受けてインド債券市場も連れ安となりました（利回りは上昇）。また、外国人投資家に対する最低代替税（MAT）の遡及的な徴収を巡る不透明感なども投資家心理の重石となりました。しかし、5月初めにインド政府がMAT問題に関して対策を講じると、買戻しが優勢となりました。6月2日にRBIは利下げを行いました。既に債券市場では織り込み済みであり、RBIの声明ではモンスーン期の降雨量が平年を下回り食品価格が上昇するリスクが挙げられていたことなどから、追加緩和期待が後退して売りが優勢となりました。その後は降雨量の増加に伴う物価上昇懸念の後退やギリシャの債務問題の動向を材料に、期末にかけて一進一退の動きとなりました。

○為替市況

インドルピーは、2015年2月から4月前半まで対米ドルで比較的小幅な動きとなりましたが、その後遡及的な税徴収の可能性に対する警戒感などを背景に外国人投資家の資金流出が起こったことなどから5月初めにかけて下落しました。対円では、円が対米ドルで大きく下落したことから上昇しました。

（年2回決算型）

○海外債券市況

インド債券市場では、期初から2015年4月下旬にかけて、10年国債利回りは小動きとなり、相対的に格付けが高い社債の国債に対する利回りスプレッドも小動きとなりました。4月末以降、欧米債券市場の大幅下落を受けてインド債券市場も連れ安となりました（利回りは上昇）。また、外国人投資家に対する最低代替税（MAT）の遡及的な徴収を巡る不透明感なども投資家心理の重石となりました。しかし、5月初めにインド政府がMAT問題に関して対策を講じると、買戻しが優勢となりました。6月2日にRBIが利下げを行いました。既に債券市場では織り込み済みであり、RBIの声明ではモンスーン期の降雨量が平年を下回り食料価格が上昇するリスクが挙げられていたことなどから、追加緩和期待が後退して売りが優勢となりました。その後は降雨量の増加に伴う物価上昇懸念の後退やギリシャの債務問題の動向を材料に、期末にかけて一進一退の動きとなりました。

○為替市況

インドルピーは、2015年4月後半から5月初めにかけて遡及的な税徴収の可能性に対する警戒感などを背景に外国人投資家の資金流出が起こったことなどから対米ドルで下落しました。対円では、円が対米ドルで下落したものの小幅に下落となりました。

ポートフォリオについて

○イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

当ファンドは、イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

○イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、ポートフォリオの構築を行いました。ファンド設定時から2015年3月後半までは米ドル建て債券に投資を行いました。その後、3月下旬のインド現地における外国ポートフォリオ投資家(FPI)制度の資格取得に伴い、ルピー建て債券への入替えを行いました。継続的な資金流入が続く中、電力・公益セクターや銀行セクターなどを中心に、利回りの面で魅力的な社債の買付けを行いました。また、流動性などを考慮し、インド国債の組入れも行いました。

ベンチマークとの差異について

○イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークを設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(毎月決算型)

分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第1期	第2期	第3期	第4期
	2015年2月10日 ～2015年4月10日	2015年4月11日 ～2015年5月11日	2015年5月12日 ～2015年6月10日	2015年6月11日 ～2015年7月10日
当期分配金 (円)	—	45	45	45
(対基準価額比率) (%)	—	0.445	0.428	0.433
当期の収益 (円)	—	19	45	41
当期の収益以外 (円)	—	25	—	3
翌期繰越分配対象額 (円)	241	229	488	489

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

（年2回決算型）

分配原資の内訳

（1万口当たり、税引前）

項目	第1期	
	2015年4月10日 ～2015年7月10日	
当期分配金 (円)		—
（対基準価額比率） (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		231

（注1）「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）—印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

○イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

2015年度は財政赤字を対国内総生産（GDP）比で3.9%とする目標が掲げられていることから、政府による拡大的な財政政策には限界があり、金融政策に景気支援の役割が期待されています。インド気象庁の事前予測に反して、モンスーン期入り後は平年を上回る降雨量を観測し良好な出だしとなったことにより、食品価格の上昇が抑えられ、商品市況が落ち着いていることなどから、今年度中に追加利下げが行われる余地はあると見えています。安全性や流動性を重視しつつ、機動的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、収益の最大化を目指して運用を行って参ります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

1万口当たりの費用明細

項目	第1期～第4期 2015/2/10 ～2015/7/10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	71円	0.688%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、10,252円です。
（投信会社）	(34)	(0.334)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(35)	(0.337)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	10	0.100	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(9)	(0.088)	外国人投資家に対する国債投資枠を取得するための入札費用等
合計	81	0.788	

- (注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

マザーファンド受益証券の設定、解約状況（2015年2月10日から2015年7月10日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 18,442,654	千円 19,005,658	千口 55,977	千円 58,750

(注) 単位未満は切捨てです。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

当作成期中の主要な売買銘柄（2015年2月10日から2015年7月10日まで）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド
公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
8.95% RELIANCE UTILITIES(インド)	1,937,181	4.125% STATE BANK INDIA(アメリカ)	47,051
9.55% HINDALCO INDUST(インド)	1,585,967	4.875% BANK OF BARODA(アメリカ)	46,552
8.45% RELIANCE PORTS(インド)	1,555,446	3.625% BANK OF INDIA(アメリカ)	46,348
8.65% POWER FINANCE CORP(インド)	1,553,511	3.25% AXIS BANK/DUBAI(アメリカ)	46,182
2% TATA STEEL(インド)	1,428,671	4.7% ICICI BANK LTD(アメリカ)	46,008
8.27% RURAL ELECTRIFICAT(インド)	1,380,950	4.5% RELIANCE HOLDINGS(アメリカ)	45,888
7.88% INDIA GOVT(インド)	1,239,626	3.875% OIL INDIA LTD(アメリカ)	43,107
8.15% POWER GRID CIL(インド)	1,033,741	2.75% EX-IM BANK OF IND(アメリカ)	41,683
8.85% AXIS BANK LTD(インド)	1,013,645	5.25% CANARA BANK LONDON(アメリカ)	38,945
8.49% LIC HOUSING FIN(インド)	976,449	2.5% ONGC VIDESH LTD(アメリカ)	34,111

(注1) 金額は受渡し代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は各月末または各期末におけるわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

利害関係人との取引状況等（2015年2月10日から2015年7月10日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

マザーファンド残高

(2015年7月10日現在)

	当 作 成 期 末 (第 4 期 末)	
	口 数	評 価 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 18,386,676	千円 19,392,427

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) マザーファンドの2015年7月10日現在の受益権総口数は、24,306,782千口です。

投資信託財産の構成

(2015年7月10日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 4 期 末)	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 19,392,427	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	19,392,427	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建て純資産（25,197,394千円）の投資信託財産総額（25,639,754千円）に対する比率は98.3%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2015年7月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=121.65円、1インドルピー=1.94円です。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

特定資産の価格等の調査（2015年2月10日から2015年7月10日まで）

マザーファンドで行った取引のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、PwCあらた監査法人へその調査を委託しました。

対象期間中（2015年2月10日～2015年7月10日）に該当した取引は、NDF取引が3件あり、当該取引については当該監査法人から調査報告書を受領しております。

なお、NDF取引については、取引相手方の名称、通貨の種類、約定レート、その他の取引内容に関することについて調査を委託し、当社から提示した関係書類と照合の結果、すべて一致しました。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	(2015年4月10日)	(2015年5月11日)	(2015年6月10日)	(2015年7月10日)現在
	第 1 期 末	第 2 期 末	第 3 期 末	第 4 期 末
(A) 資 産	602,020,125円	8,292,973,297円	17,471,484,328円	19,392,427,880円
コール・ローン等	—	—	476	—
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	602,020,125	8,292,973,297	17,471,483,852	19,392,427,880
(B) 負 債	1,607,761	43,689,363	93,027,556	109,136,566
未払収益分配金	—	36,900,731	74,782,650	83,911,061
未払解約金	—	—	476	—
未払信託報酬	1,593,087	6,766,115	18,214,323	25,187,705
その他未払費用	14,674	22,517	30,107	37,800
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	600,412,364	8,249,283,934	17,378,456,772	19,283,291,314
元 本	586,250,000	8,200,162,508	16,618,366,672	18,646,902,644
次期繰越損益金	14,162,364	49,121,426	760,090,100	636,388,670
(D) 受 益 権 総 口 数	586,250,000口	8,200,162,508口	16,618,366,672口	18,646,902,644口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,242円	10,060円	10,457円	10,341円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

当ファンドの第1期首元本額は586,250,000円、第1～4期中追加設定元本額は18,183,596,095円、第1～4期中一部解約元本額は122,943,451円です。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

損益の状況

第1期（自2015年2月10日至2015年4月10日）、第2期（自2015年4月11日至2015年5月11日）
 第3期（自2015年5月12日至2015年6月10日）、第4期（自2015年6月11日至2015年7月10日）

項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
(A) 配 当 等 収 益	－円	－円	19円	221円
受 取 利 息	－	－	19	221
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	15,770,125	△ 53,143,790	578,286,875	△ 94,098,216
売 買 益	15,770,125	－	578,399,322	1,310,518
売 買 損	－	△ 53,143,790	△ 112,447	△ 95,408,734
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,607,761	△ 6,773,958	△ 18,221,913	△ 25,195,398
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	14,162,364	△ 59,917,748	560,064,981	△ 119,293,393
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	－	14,162,364	△ 62,091,815	420,841,202
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	－	131,777,541	336,899,584	418,751,922
(配 当 等 相 当 額)	(ー)	(183,930,394)	(367,379,918)	(489,778,511)
(売 買 損 益 相 当 額)	(ー)	(△ 52,152,853)	(△ 30,480,334)	(△ 71,026,589)
(G) 合 計 (D+E+F)	14,162,364	86,022,157	834,872,750	720,299,731
(H) 収 益 分 配 金	0	△ 36,900,731	△ 74,782,650	△ 83,911,061
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	14,162,364	49,121,426	760,090,100	636,388,670
追 加 信 託 差 損 益 金	－	111,257,227	336,899,584	413,035,098
(配 当 等 相 当 額)	(ー)	(174,099,246)	(388,048,638)	(491,050,451)
(売 買 損 益 相 当 額)	(ー)	(△ 62,842,019)	(△ 51,149,054)	(△ 78,015,353)
分 配 準 備 積 立 金	14,162,364	14,162,364	423,190,516	420,841,202
繰 越 損 益 金	－	△ 76,298,165	－	△ 197,487,630

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注5) 分配金の計算過程

第1期 計算期間末における費用控除後の配当等収益（3,092,841円）、費用控除後の有価証券売買等損益（11,069,523円）より、分配対象収益は14,162,364円（10,000口当たり241円）ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第2期 計算期間末における費用控除後の配当等収益（16,380,417円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定する収益調整金（194,619,560円）および分配準備積立金（14,162,364円）より、分配対象収益は225,162,341円（10,000口当たり274円）であり、うち36,900,731円（10,000口当たり45円）を分配金額としております。

第3期 計算期間末における費用控除後の配当等収益（73,269,871円）、費用控除後の有価証券売買等損益（410,542,602円）、信託約款に規定する収益調整金（388,048,638円）および分配準備積立金（14,160,693円）より、分配対象収益は886,021,804円（10,000口当たり533円）であり、うち74,782,650円（10,000口当たり45円）を分配金額としております。

第4期 計算期間末における費用控除後の配当等収益（78,194,237円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定する収益調整金（496,767,275円）および分配準備積立金（420,841,202円）より、分配対象収益は995,802,714円（10,000口当たり534円）であり、うち83,911,061円（10,000口当たり45円）を分配金額としております。

当作成期の分配金

決算期	第1期	第2期	第3期	第4期
1万口当たり分配金（税引前）	0円	45円	45円	45円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

※上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」をご利用の場合は、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2015/4/10 ～2015/7/10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	42円	0.418%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,110円です。
（投信会社）	(20)	(0.205)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(21)	(0.203)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	6	0.059	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(6)	(0.055)	外国人投資家に対する国債投資枠を取得するための入札費用等
合計	48	0.477	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

マザーファンド受益証券の設定、解約状況（2015年4月10日から2015年7月10日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	5,642,948	5,826,705	2,693	2,849

(注) 単位未満は切捨てです。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）

当期中の主要な売買銘柄（2015年4月10日から2015年7月10日まで）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド
公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
8.95% RELIANCE UTILITIES(インド)	1,897,414		
9.55% HINDALCO INDUST(インド)	1,585,967		
8.65% POWER FINANCE CORP(インド)	1,566,666		
8.45% RELIANCE PORTS(インド)	1,508,359		
2% TATA STEEL(インド)	1,389,355		
8.27% RURAL ELECTRIFICAT(インド)	1,342,273		
7.88% INDIA GOVT(インド)	1,239,626		
8.15% POWER GRID CIL(インド)	1,039,611		
8.85% AXIS BANK LTD(インド)	983,066		
8.49% NTPC LTD(インド)	976,333		

(注1) 金額は受渡し代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は各月末または期末におけるわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

利害関係人との取引状況等（2015年4月10日から2015年7月10日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

マザーファンド残高

(2015年7月10日現在)

	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	5,640,254	5,948,776

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) マザーファンドの2015年7月10日現在の受益権総口数は、24,306,782千口です。

投資信託財産の構成

(2015年7月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	5,948,776	99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,959	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	5,954,735	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（25,197,394千円）の投資信託財産総額（25,639,754千円）に対する比率は98.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2015年7月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=121.65円、1インドルピー=1.94円です。

特定資産の価格等の調査（2015年4月10日から2015年7月10日まで）

対象期間中（2015年4月10日～2015年7月10日）に該当する取引はありませんでした。

資産、負債、元本および基準価額の状況

（2015年7月10日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,954,735,078円
コール・ローン等	3,109,261
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	5,948,776,643
未 収 入 金	2,849,173
未 収 利 息	1
(B) 負 債	21,631,835
未 払 解 約 金	5,958,434
未 払 信 託 報 酬	15,672,213
そ の 他 未 払 費 用	1,188
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	5,933,103,243
元 本	5,798,595,659
次 期 繰 越 損 益 金	134,507,584
(D) 受 益 権 総 口 数	5,798,595,659口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,232円

〈注記事項〉

（貸借対照表関係）

期首元本額	1,185,300円
期中追加設定元本額	5,819,231,276円
期中一部解約元本額	21,820,917円

損益の状況

当期（自2015年4月10日 至2015年7月10日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	52円
受 取 利 息	52
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	124,636,060
売 買 益	125,096,245
売 買 損	△ 460,185
(C) 信 託 報 酬 等	△ 15,673,401
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	108,962,711
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	25,544,873
(売 買 損 益 相 当 額)	(25,544,873)
(F) 合 計 (D+E)	134,507,584
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	134,507,584
追 加 信 託 差 損 益 金	25,544,873
(配 当 等 相 当 額)	(11,505,146)
(売 買 損 益 相 当 額)	(14,039,727)
分 配 準 備 積 立 金	108,962,711

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
- (注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
- (注5) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(54,009,291円)、費用控除後の有価証券売買等損益(54,953,420円)、および信託約款に規定する収益調整金(25,544,873円)より、分配対象収益は134,507,584円(10,000口当たり231円)ですが、当期に分配した金額はありません。

当期の分配金

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

※上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はありません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド組入資産の明細

下記は、当ファンドが組入れているイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド全体（24,306,782千口）の内容です。

公社債

(A) 種類別開示

外国（外貨建）公社債

有価証券明細表

(2015年7月10日現在)

区分	額面金額	評価額		組入率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
インド	千インドルピー 12,274,800	千インドルピー 12,336,717	千円 23,933,232	% 93.4	% 5.4	% 85.9	% 7.5	% -
合計	12,274,800	12,336,717	23,933,232	93.4	5.4	85.9	7.5	-

(注1) 邦貨換算金額は、2015年7月10日現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、当ファンドが組入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) -印は組入れなしです。

(注5) B B格以下組入比率の計算においては、Moody'sとS&Pの発行体格付けをもとに当社が独自に採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は26.5%です。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

組入有価証券明細表

(2015年7月10日現在)

銘柄	利率	額面金額	評価額		償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)	%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
国債証券	7.88	650,000	641,582	1,244,670	2030/03/19
特殊債券	8.15	550,000	532,888	1,033,803	2030/03/09
	8.18	400,000	399,824	775,658	2020/02/10
	8.2	20,000	19,866	38,540	2020/01/23
	8.2	250,000	245,123	475,538	2025/01/23
	8.2	50,000	48,651	94,384	2030/01/23
	8.4	50,000	49,511	96,051	2026/05/27
	8.4	50,000	49,486	96,002	2027/05/27
	8.4	50,000	49,572	96,169	2028/05/27
	8.4	50,000	49,439	95,911	2029/05/27
	8.4	50,000	50,050	97,097	2030/05/27
	8.83	25,000	25,565	49,596	2023/01/09
	8.87	100,000	102,705	199,248	2025/03/13
	8.87	400,000	417,052	809,080	2029/10/30
	普通社債券	2.0	670,000	710,200	1,377,788
8.14	50,000	49,647	96,315	2026/03/25	
8.14	100,000	99,258	192,560	2027/03/25	

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

銘柄		利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
普通社債券	NUCLEAR POWER CORP	8.14	100,000	98,157	190,424	2028/03/25
	NUCLEAR POWER CORP	8.14	100,000	98,470	191,031	2029/03/25
	NUCLEAR POWER CORP	8.14	350,000	348,232	675,571	2030/03/25
	PUNJAB NATIONAL BK	8.23	425,000	421,969	818,621	2025/02/09
	RURAL ELECTRIFICAT	8.27	720,000	715,438	1,387,951	2025/02/06
	RURAL ELECTRIFICAT	8.3	400,000	398,242	772,590	2025/04/10
	POWER FIN CORP	8.36	20,000	19,953	38,708	2020/02/26
	KOTAK MAHINDRA BK	8.45	400,000	397,112	770,397	2022/03/30
	RELIANCE PORTS	8.45	825,000	807,922	1,567,369	2023/06/12
	LIC HOUSING FIN	8.49	500,000	496,365	962,948	2020/04/28
	NHPC	8.49	50,000	50,186	97,360	2020/11/26
	NTPC LTD	8.49	500,000	503,410	976,615	2025/03/25
	LIC HOUSING FIN	8.52	100,000	98,814	191,699	2025/03/03
	POWER FINANCE CORP	8.65	800,000	805,621	1,562,905	2024/12/28
	NHPC	8.78	50,000	50,775	98,503	2020/02/11
	NHPC	8.78	50,000	50,808	98,567	2021/02/11
	NHPC	8.78	50,000	50,941	98,826	2023/02/11
	INDIAN RAIL FIN	8.83	20,000	20,643	40,047	2023/03/25
	AXIS BANK LTD	8.85	520,000	530,972	1,030,085	2024/12/05
	NHPC	8.85	10,900	11,109	21,551	2021/02/11
	NHPC	8.85	10,900	11,126	21,584	2022/02/11
	RELIANCE UTILITIES	8.95	1,020,000	1,026,732	1,991,860	2023/04/26
	ICICI BANK	9.15	400,000	421,680	818,059	2024/08/06
	NTPC LTD	9.17	18,000	19,019	36,897	2024/09/22
	STERLITE INDUSTRIE	9.17	20,000	20,074	38,943	2023/07/05
	ICICI BANK	9.25	250,000	265,577	515,220	2024/09/04
	HINDALCO INDUST	9.55	800,000	804,392	1,560,520	2022/04/25
HINDALCO INDUST	9.55	100,000	101,531	196,970	2022/06/27	
HINDALCO INDUST	9.6	150,000	151,020	292,978	2022/08/02	
合計	—	—	—	—	23,933,232	—

(注1) 邦貨換算金額は、2015年7月10日現在の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券 マザーファンド

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」は、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）」および「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）」の決算日（2015年7月10日）現在、第1期の決算を迎えていないため、運用報告書の添付を行っておりません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

投資方針	主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主な投資対象	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。